

重点区域① 厩橋地区

本市のまちなかは、「歴史的なものと都市的なものが共存する街並み」が特徴的。こうした街並みを生かしてさらなる前橋らしさを創出するため、まちなかの一部を重点区域「厩橋地区」に指定し、「History × Urban」を基本とした歴史まちづくりを進めていきます。



楽歩堂前橋公園の中に歴史的拠点となる施設を設置。図は、明治時代の県庁舎だった「前橋城本丸御殿」を復元した場合のイメージです。



JR 前橋駅周辺の歴史的景観を高めます。先代前橋駅舎の一部再現や、かつて駅前広場にあった噴水の復元などが想定されます。



令和元年に民間開発の際に発見された「大手門跡」。今は埋め戻されていますが、多くの人にてもらえる方策を検討しています。

重点区域② 総社及び総社山王地区

元総社から総社にかけては、今も古墳をはじめとする多くの歴史的資源が残る歴史の宝庫。そこで、このエリアの一部を重点区域「総社及び総社山王地区」に指定し、歴史的資源の集積を生かした歴史まちづくりを進めていきます。



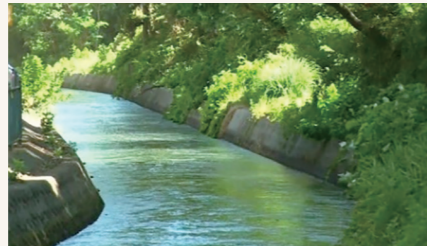
総社山王地区に残る養蚕農家の保全支援のイメージ。



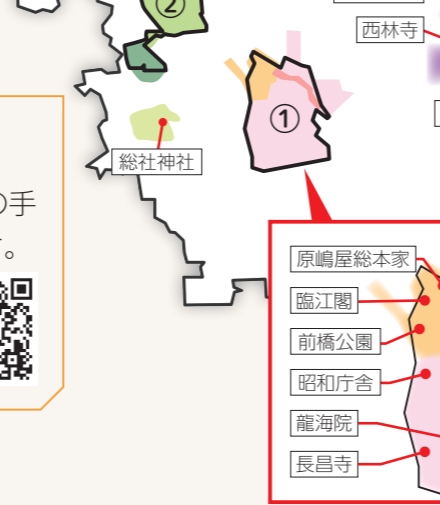
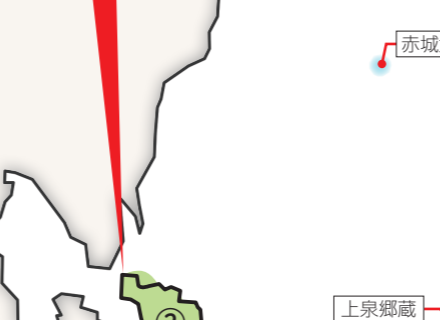
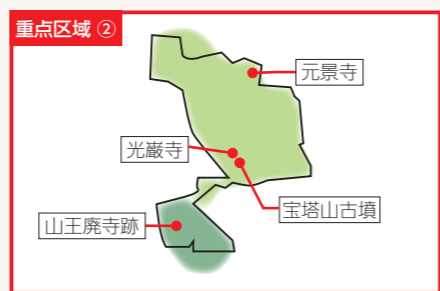
国指定史跡「宝塔山古墳」の周辺道路を美化したイメージ。



総社の象徴的なイベント「総社秋元公歴史まつり」のさらなる充実にも取り組みます。



世界かんがい施設遺産に登録された「天狗岩用水」の活用策も検討します。



本市の歴史まちづくりが始まります

固都市計画課 ☎027-898-6974

昨年12月20日、本市が策定した「歴史まちづくり計画」(以下、歴まち計画)が、文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣の認定を受けました。このことにより、今後、本市が実施する歴史的環境整備などに対し、国からの支援が受けやすくなります。

これから本市がどのような歴史まちづくりに取り組んでいくのか、歴まち計画の一部を紹介します。



歴史まちづくりの将来都市像「温故創新」。故事成語「温故知新」にちなんで、「過去を共有して未来を創る」という意味を込めました。

歴まち計画とは？

歴史まちづくりとは文字通り、歴史的な資源を活用してまちづくりを実施すること。それをさまざまな角度から取りまとめたのが、歴まち計画です。それぞれの取り組みは、歴史的風致の要件を満たす地域で実施することが前提。そして、歴史的風致を維持し、向上することがこの計画の狙いです。



前橋八幡宮(本町二丁目)や国道50号(本町通り)で行われる初市まつりの光景は、歴史的風致の典型的な好例です。

歴史的風致とは？

歴史的風致とは、古い建物やその周辺で実施される活動などが一体となって、歴史的な風情や情緒、趣が感じられる一定の範囲のことです。

A 「関東の華」から「生糸のまち」への変遷にみる歴史的風致

- 1 街なかの伝統祭礼にみる歴史的風致
- 2 前橋公園の花見にみる歴史的風致
- 3 シンボルとしての広瀬川河畔にみる歴史的風致

B 「1500年都市 元総社・総社」にみる歴史的風致

- 1 総社神社の祭礼にみる歴史的風致
- 2 総社地区の歴史顕彰活動にみる歴史的風致
- 3 総社山王地区の養蚕集落にみる歴史的風致

C 赤城山信仰と南麓集落にみる歴史的風致

- 1 赤城山信仰にみる歴史的風致
- 2 「大胡暴れ獅子」にみる歴史的風致
- 3 剣聖「上泉伊勢守」の顕彰活動にみる歴史的風致

シンポジウムで計画を解説します

歴まち計画の認定を記念してシンポジウムを開催。群馬地域学研究所の手島仁さんや有識者による基調講演やパネルディスカッションを実施します。

時 2月26日(日)13時30分 場 群馬会館(大手町二丁目) 対 一般、先着200人 申 2月17日(金)までに都市計画課(☎027-898-6974)へ直接か右記二次元コードの申し込みフォームで

